

令和6年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和6年 4月18日(木)

2 調査対象 第3学年生徒(43名)

3 調査内容

(1)教科に関する調査(国語、数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2)学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

4 調査結果

(1)教科に関する調査

国語は、全国平均正答率を下回りました。

数学は、全国平均正答率を下回りました。

(2)生徒質問調査

①成果が見られた項目

- ・就寝、起床時刻が規則正しく習慣化されている生徒割合が全国・県平均をともに上回っている。
- ・人の役に立つ人間になりたい、と回答している生徒割合が全国・県平均をともに上回っている。
- ・学校の授業時間以外の平日の学習時間が3時間以上と回答している生徒割合が全国平均の約2倍、県平均の約3倍となっている。

②課題が見られた項目

- ・学校の授業時間以外の平日の学習時間が30分より少ないと回答している生徒割合が全国平均の約2倍、県平均の約3倍となっている。
- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っていますか、という項目に対する回答として、「約束はない」と回答した生徒割合が全国・県平均の約2倍となっている。
- ・平日1日当たりのゲーム時間・動画視聴時間が4時間以上の生徒割合が、全国平均の約2倍、県平均の約3倍となっている。

5 学力向上の取り組み

- ・「わかった・できた」が実感できるような授業づくりを目指して、ICTの活用や指導法の工夫改善に取り組むとともに、既習事項を振り返る機会を設け、基礎・基本のより一層の定着を図る。
- ・授業の中で、自分の考えをもつ場面を設定し、なぜそう考えたのか、その考えに至った根拠や理由を明確にする時間を確保する。
- ・生徒が互いの考えを説明し合う機会を設け、他者の意見を聞き、自分の意見と比較、検討する活動を行うことで生徒が相互に啓発し合うような授業づくりに努める。

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

(1)家庭学習について

- ・ゲームや動画視聴、スマートフォンなどの利用についてルールを決めるとともに、生徒が落ち着いて学習できる場と時間を確保してください。
- ・計画的な家庭学習、宿題や授業の復習を行うことを習慣づけてください。

(2)家庭での生活について

- ・就寝、起床時刻が正しく習慣化されているという素晴らしい点を継続できるように声かけをしてください。
- ・ゲームや動画視聴、スマートフォンなどの利用の時間を少なくし、家族のふれあいや会話の時間をできるだけ多くとることを通して、将来の生き方を考えたり、夢や希望を広げたりする時間としてください。